

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	広聴事務					
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係	課長名	五十嵐 孝雄

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行	-	3	-
【施策名】 市民自治の向上	総合計画書 (ページ)	127			

予算名	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	3	広報費	事業	2	広聴活動事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-----	----	---	--------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		市民全体	→ 市内総人口(平成30年4月1日現在)
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		様々な手段により、市に対し意見や要望を伝えることができる。	→ 意見や要望の受付件数/意見や要望を出した市民
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		市民からは、市長への手紙やホームページからのご意見・ご要望として意見を聞き、団体からは、要望や陳情としてそれぞれ行政に対する声を聴けるようにした。	→ (1)「市長への手紙」、「ご意見・ご要望」の受付件数 (2)団体からの要望・陳情の受付件数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/	/
		成果指標	②の数値	%	100	100	100	/	/
		目 標	②の目標値	%	/	/	100	100	100
			目標値設定の考え方 悩みを持っている市民に、漏れなく相談の機会を与える。						
活動指標	③(1)の数値	件	344	277	307	/	/		
	③(2)の数値		14	15	20	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	290,195	267,278	264,702	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	290,195	267,278		264,702
			特定財源		円				
			(うち受益者負担)		円				
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.4	0.4		0.4
			所要人数(再任用)		人				
職員人件費(再任用以外)			円	3,306,800	3,301,200	3,297,600			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	3,596,995	3,568,478	3,562,302				

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		多岐にわたる市民の意見や要望について、窓口を一本化し、円滑な対応を図ることを目的に事業を開始した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		年間を通して随時、受付をしているが、近年では電子メールからの意見や要望が多い。

仕 事 の 内 容	広聴事務					
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係	課長名	五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	特になし。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
	⑥(市報、市の公式ホームページ)、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
様々な手段（手紙、メール、FAX等）で広聴事務を行っているが、市民への周知方法について工夫したい。		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	従来の情報提供方法に加え、市民への周知のあり方については、引き続き討を要する。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
意見や要望の結果等を市報や市公式ホームページ上でQ&Aとして掲載することを検討したが、個々の意見や要望が多く、取りまとめ困難であることから当面公表しないこととした。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
市民への周知のあり方については、常に検討を要する。	

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	引き続き、様々な手段（手紙、メール、FAX等）により広聴事務を実施していく。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	広聴事務について、より周知を図るべく、そのPR方法を工夫していく。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。